

令和3年度 GSS(グリーンサポートスタッフ)活動感想



二川 定夫

早池峰山山頂でのガラス片の収集では、「何をしているのですか」、「清掃活動も皆さんの仕事ですか」、「ありがとうございます」等の声かけられ 自然の大切さ、保護の大切さを知ってもらえる機会になったのかなとうれしく思っていました。

今後も続けていきたいミッションです。



登山者からの小田越ルート以外の質問があっても返答できないもどかしさがありました。今年活動範囲を広げることにより状況を把握することが出来ました。

今後も少しずつ活動領域を広げることにより情報提供、自然公園保護管理員さんとの情報共有がスムーズになることを期待できるのではと思いました。



今年初めて知った早池峰山の花、木や見分け方「ガンコウラン」「ヒロハヘビノボラス」の赤い実「ミヤマアケボノソウ」「ウラジロナナカマド」ナナカマドとの見分け方「早池峰ウスユキソウ」固有種の簡単な見分け方等々、たくさんの草花の観察が進んだことが嬉しいです。



まだまだやれることがありそうですのでミッションを少し多めに出して頂いていると嬉しかった？

個人的には、足の痙攣で多くの方々に迷惑をかけてしまい深く反省しております。(漢方薬により対策をしております)



渡部 沙織

令和3年度 GSS(グリーンサポートスタッフ)活動感想

早池峰山域巡視のお仕事につかせていただき四年目。森の鉄人と教育のスペシャリストと山暮らしの達人という、それぞれに素晴らしいキャリアをもつ仲間に助けられながら今シーズンも事故なく務めを終えることができたことに感謝です。



今年の巡視の仕事は、看板の設置、山頂のガラス拾い、カーブミラーの周りの刈払、植生保護柵の確認、七折の滝や剣ヶ峰など新たなフィールドへの巡視など活動に広がりができ、登山者とのコミュニケーションも潤滑に交わされ、美しいフィールドで、気持ちのよい取り組みができました。



ロープで導かれた登山道のおかげで、古くを知る方からは「昔より花が増えてきた(戻ってきた)」とのお声をいただき、改めて市の自然公園保護管理員の皆さんの取り組みと登山者の皆さんの早池峰を大切にしている心(マナー)がひとつとなって、早池峰山域の自然が守られていることを実感しました。



これからも早池峰を愛する心でひとつとなって、協力のもと、山に入らせていただくことができますよう願っています。ありがとうございました。



菊池 福盛

令和3年度 GSS(グリーンサポートスタッフ)活動感想

今年も森林保護員という貴重な体験を通して、あらためて早池峰山の魅力に触れることができました。特に今年は勤務日数が多かったため、花を通して季節の移り変わりを強く感じることができました。登山コースでは、初めて七折の滝や剣ヶ峰、鶏頭山に行きましたし、何年かぶりに河原の坊コースを植生防護柵の確認のため途中まで登ることができました。七折の滝が、ヒョングリ滝ランキングで1位になっていることにも驚きました。



また、昨年、ある登山者から「地元の方は早池峰を大切にされていますね」と声をかけられたので、今年は、全国各地から訪れる登山者との交流を楽しく有意義なものにしようと積極的に声がけしたつもりです。結果的に、私にはその交流が一番楽しく、GSSにとって最も必要なことだと思えます。



体力的には徐々にきつくなってきましたが、微力ながら、これからも地元民としてこの山を大切に守り続けたいと思っています。

令和3年度 GSS(グリーンサポートスタッフ)活動感想



石塚 勇太

今年もここ早池峰で、GSSとして、全国各地から集った登山者や、「雲上のお花畑」と呼ぶにふさわしい美しい高山植物の数々と接することができました。

また、今シーズンは河原の坊コース、早池峰剣が峰、鶏頭山など、巡視エリアのバリエーションも増え、面としての早池峰を感じることもできる有意義なシーズンでした。ゆえに昨年にも増して多くの高山植物を目にすることができたわけですが、行く先々で「ハヤチネウスユキソウ」の話題がほとんどです。「ハヤチネウスユキソウ」もちろん美しいのですが、それだけではない、早池峰で出会える高山植物を月ごとに厳選して述べていきたいと思います。



6月 ヒメコザクラ



7月 ムシトリスミレ

まず、6月は、「ヒメコザクラ」です。その小さくとも整った可憐な姿の花は7月に入ると突然、山から姿を消してしまいます。早池峰固有種ではないものの、現状では早池峰に来ないと出会うことが難しい高山植物となっているようです。

7月は、「ムシトリスミレ」です。昨年から探しておりましたが、見つけられず、今年ついに会うことができました。「スミレ」とありますが、スミレ科ではなく、タヌキモ科で、腺毛で小さい虫を捕食してしまうとのことです。いつか1日中、早池峰でムシトリスミレを観察してみたいものです。



8月 ナガバキタアザミ



9月 ナンブトウウチソウ&シロバナトウウチソウ

8月は「ナガバキタアザミ」です。ぱっと見、よくイメージするアザミにはみえないのですが、それもそのはず、「アザミ」とありますが、これは「トウヒレン」の仲間です。8月は「ハヤチネウスユキソウ」を筆頭にお花畑が一面に広がっているため、相対的にこの「ナガバキタアザミ」の存在感は薄いのですが、実は本州ではここでしか見られないとされるレアものだったりします。

最後に9月は「ナンブトウウチソウ」です。「ナンブトウウチソウ」は早池峰の固有種なので、出会えただけで感動しますが、なんと場所によっては「シロバナトウウチソウ」と奇跡の競演を果たしています。9月に入り、「ハヤチネウスユキソウ」に出会えなくても、「トウウチソウブラザーズ」が見られればお腹いっぱいです。

以上、今シーズンの感想でした。また来年も早池峰へ行けるよう健康第一で努めたいと思います。